

海津木苑運営委員会（平成28年度8月期）

会議録

1. 日時： 平成28年8月26日（金）15時00分 開会
 2. 場所： 古賀市海津木苑 会議室

3. 出席委員（12名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	智原 和子	委員	奴間 健司
委員	田中 英輔	委員	安武 正一
委員	三好 収	委員	池見 直喜
委員	森 里子	委員	横田 昌宏
委員	松尾 佳久	委員	渡 行弘

4. 欠席委員（ 簗原委員、矢部委員 ）

5. 傍聴者数（1名）

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	智原 弘文	環境課長	智原 英樹
海津木苑場長	伊東 孝廣	海津木苑係長	吉田 義昭
海津木苑職員	国本 勝喜		

7. 協議事項及び報告

- ① 会議録について 資料.1
 イ. 6月期会議録
 ロ. 8月期会議録署名
- ② 海津木苑運営に関する実施状況 資料.2
 ・平成28年6月及び7月の処理状況について
- ③ 海津木苑臭気測定検査結果について 資料.3
 ・第1回臭気測定（7月14日（木）実施）
- ④ 海津木苑施設等啓発について 資料.4
- | | | | |
|----------------------------------|----------|-----|-----|
| イ. 海津木苑施設見学（舞の里小学校4年生） | 6月22日（水） | 見学者 | 46名 |
| ロ. 海津木苑施設啓発「排育」（舞の里小学校人権同和教育研修会） | 7月29日（金） | 参加者 | 16名 |
| ハ. 海津木苑出前講座（鹿部区民） | 7月31日（日） | 参加者 | 45名 |
| ニ. 海津木苑施設研修・見学（古賀市学校人権教育研究協議会） | 8月2日（火） | 見学者 | 45名 |
| ホ. 海津木苑施設研修「排育」（古賀北中学校区夏季研修会） | 8月3日（水） | 参加者 | 46名 |
| ヘ. 海津木苑施設研修「排育」（古賀北中学校区夏季研修会） | 8月5日（金） | 参加者 | 43名 |
- ⑤ 海津木苑将来構想策定について

8. その他

- ・マイナンバー届出書について
- ・海津木苑施設内見学及び啓発映画「生命ひかる町に」上映について

概要

15:00 開会

1. 古賀市あいさつ

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項及び報告

① 会議録について **資料.1** (事務局より説明)

イ. 6月期会議録

ロ. 8月期会議録署名

[質疑・意見] なし

② 海津木苑運営に関する実施状況 **資料.2** (事務局より説明)

・平成28年6月及び7月の処理状況について

[質疑・意見] なし

③ 海津木苑臭気測定検査結果について **資料.3** (事務局より説明)

・第1回臭気測定(7月14日(木)実施)

[質疑・意見] なし

④ 海津木苑施設等啓発について **資料.4**

イ. 海津木苑施設見学(舞の里小学校4年生) 6月22日(水) 見学者 46名

ロ. 海津木苑施設啓発「排育」(舞の里小学校人権同和教育校内研修会)7月29日(金)参加者 16名

ハ. 海津木苑出前講座(鹿部区民) 7月31日(日)参加者 45名

ニ. 海津木苑施設研修・見学(古賀市学校人権教育研究協議会) 8月2日(火)見学者 45名

ホ. 海津木苑施設研修「排育」(古賀北中学校区夏季研修会) 8月3日(水)参加者 46名

ヘ. 海津木苑施設研修「排育」(古賀北中学校区夏季研修会) 8月3日(水)参加者 43名

[質疑]

副委員長 : 学校関係に啓発をされているが、海津木苑からエール送ってされているのか、学校側より自主的にされているのか。出前講座を含めて一般の方へ啓発の研修等どのように考えているのか。

[答弁]

海津木苑 : 学校側より自主的に申し込みを受けて施設啓発研修を行なっています。

場長 : 一般の関係については、もっと広げていきたい。今年度は、ひだまり館の事業で

高齢者向けの、生き生き音楽校へアプローチをかけて、海津木苑の見学等お願いし、現在企画を行っている最中です。徐々にではありますが、市民の方々へ広げていきたいと考えております。

[要望]

副委員長 : 一般市民の方へ施設啓発を通して、同和問題解決に向けさらに工夫をし啓発を行なっていただきたい。

[質疑]

委員 : 鹿部区での出前講座は、どのような経過で実施することが決まったのか。また行なわれた区民の反応をお聞きしたい。

[答弁]

海津木苑 場長 : 6月の鹿部区との啓発協議において、区長さんより海津木苑の出前講座の要望があり、子どもたち向けに保護者も参加するところで、海津木苑の話しをお願いされ受けた経緯があります。

[説明]

委員 : いろいろ反省点ではありますが、区執行部でまず親子間で勉強したほうが良いとの意見から、区のそうめん流しの当日に出前講座をおこないました。この夏休みに子どもの居場所ということで、1週間公民館やグラウンドを子どもたちに開放し、区役員も係わる中で、排育の出前講座を受けて子どもたちが、積極的にトイレに行くようになりました。出前講座については、年に2~3回取組んでいきたいと思っております。

[意見]

委員 : 今回、そうめん流しをする回覧板には、一言だけ勉強会もすると書かれていて、区民が参加したいと思うようなアピールの方法になっていたのかと思われました。

[意見]

委員 : 市内の行政区区長さんが、3Kと言われている施設、葬祭場、清掃工場、し尿処理場に見学に行き、地元区民に伝える事が大事だと思います。

[答弁]

市民部長 : 行政区で言えば、行政区区長、組長さんがそのようなことに関心を持ち、正しく区民の方へ伝える事が大切だと思います。区長会等毎月開かれており、海津木苑の出前講座等の開催について呼びかけ出来れば行いたい。

鹿部区でのそうめん流しとのコラボで出前講座を行い、今後も取り組みの輪が広がっていくよう海津木苑、環境課共に創意工夫重ねていきたい。

[答弁]

環境課長 : 代表区長会による環境組合ということで、組織をして各小学校区の代表の方と昨年より清掃工場の見学を代表区長の皆さんとおこなっております。今年度も秋口に予定しております。そのような場で、海津木苑の出前講座について PR をさせていただきたいと思っております。

[要望]

委員 : 古賀市リーパスプラザ（中央公民館）教育講座の中に教養講座というものがあります。その教養講座の中に人権学習が必須項目としてありますので、公民館と連携をとって、市民へ海津木苑啓発を広げていただきたい。

⑤ 海津木苑将来構想策定について （事務局より説明）

[質疑]

委員 : 前回の委員会会議録の中で、将来構想の報告書、バイオマスの可能性調査 2 点論議した件について、可能性調査については、8 月 9 日に市民建産委員会に提出され、将来構想については、6 月 30 日に報告書出来次第委員の皆さんに送付すると会議録に残っております。その報告書の取扱いについて説明をお願いします。

[答弁]

市民部長 : 報告書については、委員の皆さんへ送付したい旨の発言をしておりました。庁内プロジェクトを開きその中での発言やその間、事務局等で協議を行なった中で、今回の報告書の中身が 4 パターンで最終的に整理され、そのパターン別に◎○▲と評価され、また、ランニングコスト等金額の記入もされています。6 月には、送付すると申しましたが、もう少し慎重に取扱う必要があるのではないか、というような話しを積み重ねて参りました。庁内プロジェクト会議の中でも、ひとり歩きしていた場合、もう確定している、と取扱われる恐れがあるのではないかということで、現時点では皆様方へ送付はしておりませんが、今の段階では委員の皆様方を優先に、閲覧というかたちを取らせていただきたいと考えております。

[質疑]

委員 : バイオマスの可能性調査とは違い、市の予算を使つての成果報告書です。パターン別に金額が出ているので、慎重に取扱いというのは解りますが、委員会録で送付したいと言われているので、撤回するというのはどんな事情があるにしても、受入れがたいところがあります。4 パターン以外にありえないのかと私は思うのですが、4 パターンに限定しないことを含めての判断もあるのではないかと考えています。地元には、報告書に基づいて説明会をすつて、委員会には、閲覧としてそれ以上の説明はしないと受け止めていいのか。

[答弁]

市民部長 : 鹿部区長より、もう少し時間を掛ける案の選択肢があってもいいのでは、とのご意見もあり4パターンの中から、とならない可能性もあり、そのようなことも含めて報告書については、慎重に取扱いを行なっていきたい。古賀市の税金を使って報告書の作成をしておりますので、早い時期に地元と取扱い関係の精査をさせていただきながら、最終的には公開するものと思っております。

[意見]

副委員長 : 最終的に3月までに判断をすると、地元との使用期限7年を切り急ぐ意味は解りますが、もっと慎重に進めるべきだと思います。関連して報告書の取扱いについても十分慎重に協議をして進めていただきたい。当初から言っていますが、ここを建設する時は大変でした。よって閉鎖するあるいは、継続するそういったことから考えるともっと、慎重に進めていただきたい。

[説明]

委員長 : 委員より原則公表すべきとの発言、執行部として成果物は委員さんには、海津木苑で閲覧していただく、副委員長より、取扱いについては、十分慎重にあるべきのご意見でした。

[意見]

副委員長 : バイオマスの関係についてもまったくゼロではないので、それを含めて進めていくべきではありませんか。

[答弁]

市民部長 : 一方で、バイオマス発電の調査研究を行なっています。庁舎内では、海津木苑の将来構想の関係、バイオマス発電関係も一定の地域を限定して食品加工団地、将来的には、海津木苑の将来構想とバイオマス発電がリンクして、4パターン以外に、一緒に考えていく方針も考えられると思っております。

[意見]

委員 : 地元の立場として、高田から鹿部の受入れた経緯、4パターン◎○▲の評価、金額等見てひとり歩きした場合心配しています。年度末に答えを出す厳しさはありますが、慎重に議論し納得のいく答えを出していただきたいと地元としての意見です。

[意見]

副委員長 : 協定者である行政区と相談をしながら慎重に取扱って欲しいと思います。

[意見]

委員 : 現在まで、地元説明会2回行なっています。次回は、数値等具体的なところが出されるかと思いますが、説明会をするなら、詰めに詰めて一区民が歴史的な海津木

苑の経緯を知らない区民が増えたとは思いますが、説明会回数については、地元で私も調整いたしますので、そのような取り組み構え、スタンスをとっていただきたい。

[意見]

委員 : 高田から鹿部への経緯については、話を聞き学習する中でしか身につけておりませんので、その思いについては差があるかと思えます。お金を掛けてコンサルに依頼し調査して、行政マンだけでは判断できないので慎重に判断するプロセスが必要だと思えます。では、結果が出たときにその中身を公表するとひとり歩きすると言われていますが、私は、地元にも不利になったり、迷惑をかけるという意味ではなく、あくまでコンサルの判断ですから市長の判断ではありません。情報を共有しながら決定過程にこの委員会の意見を申すチャンスがあると言ったほうが、最終的には、地元へも古賀市全体にも、最良の選択が出来るのではとの思いで、このような発言をしている。議員も3人出させていただいておりますので、情報も共有しながらいい選択に繋げることが出来たらと思っております。

[意見]

副委員長 : ここは、報告と言うことで、お互いに理解をして私も出すなどとは言っていない。ここは委員長、預かっていただいて、いずれの時期に執行部が判断してほしいと求めて終わっていきたい。

[要望]

委員長 : 非常に重い意見ですが、公開のタイミングの問題、地元との経緯、さまざまな立場の意見等を執行部の皆さん、今の意見を聞いて、ある時期タイムスケジュールを出していただきベストの案を要望しておきます。

4. その他

- ・マイナンバー届出書について (事務局より説明)
- ・海津木苑施設内の見学及び啓発映画「生命ひかる町に」について (事務局より説明)

[提案]

海津木苑 場長 : 10月期の運営委員会で海津木苑施設内の見学、12月期に啓発映画「生命光る町に」をみていただきたいと考えておりますので、そのようなかたちで進めてよいかお伺いいたします。

[回答]

委員 : 了承

[提案]

海津木苑 場長 : 10月期、12月期の運営委員会を、14時から開きたいと思いますのでよろしくをお願いします。

[報告]

市民部長 : ④海津木苑施設等啓発の今後の予定で、7番の福岡県人権・同和教育研究大会の分科会の1コマに、海津木苑職員と古賀西小学校4年生の先生方が、分科会で報告を致します。この、福岡県人権・同和教育研究大会は、福岡県内における人権・同和教育の実践が、素晴らしい学校や団体等の報告となっておりますので、是非、委員の皆様にも、参加をしていただきますようお願いいたします。要綱が出来次第委員の皆様へ送付いたしますのでよろしくお願いいたします。

16:20 閉会

※ 次回の運営委員会は、10月を予定しております。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

平成28年 月 日

委員長 印

委員長の指名する
出席委員 印